

# 進路通信

卒業後の  
「生き方」  
を考えよう。

島本町立第二中学校

令和2年6月1日

【発行】

進路担当 田平暁亘

## ～「選択」の流れ【後半】～

### 「進学」にも色々な道がある

皆さん、一言に「進学」と言っても、色々な道筋があるのはご存知ですか。「公立高校」や「私立高校」などの【**学校の種類**】と、「普通科」や「文理学科」・「特進Ⅰコース」などの【**学科やコースの種類**】が多く存在します。さらに「全日制」や「夜間定時制」「通信制」のように、【**授業形態や時間帯の種類**】もあります。様々な進学の形があることを頭に置いて、比較・検討しながら、進学先を決定していきましょう。

では、それぞれの種類について、簡単ではありますが、紹介していきます。



### 【学校の種類について】

#### ① 「公立高校」

“都道府県”が運営する高校です。最近では、学校ごとに特色を強く打ち出しています。男女共学であり、入学～卒業までにかかる費用（学費・諸経費等）は比較的安いです。（※1）

例）島本高校など

#### ② 「私立高校」

“民間”が運営する高校です。独自の校風を持ち、宗教の授業など教育内容にも特徴があります。男子校や女子校のように男女別学のところもある。入学～卒業までにかかる費用（学費・諸経費等）が公立と比べると4～5倍程度かかります。（ただし、学校によっては学習特待生制度があり、入学金全額免除や奨学金〇〇万円などの優遇があります。）（※2）

例）金光大阪高校など

#### ③ 「国立高校」

“国”が運営する高校です。「〇〇大学付属高等学校」のような名称や、「国立〇〇工業高等専門学校(国立高専)」のような名称です。例）奈良工業高等専門学校など

#### ④ 「専修学校・各種学校」

中学校卒業後に、専門的な知識や技能を身に付けたいと思っている人のための学校です。専修学校のほとんどが、通信制の学校と技能連携をしているため、卒業すれば高校卒業の資格をとることができます。

例）大阪美容専門学校など

### ⑤ 「高等職業技術専門校」

働くために必要な技能や知識を習得するための職業訓練を行う公的な機関です。

例) 大阪府立高等職業技術専門校

### ⑥ 「通信制高校」

“通信”による教育を行う高校です。登校回数などが全日制・定時制と異なりますが、卒業の際に得られる高校卒業資格は同じものとなります。

例) KTCおおぞら高等学院

## 【学科やコースの種類について】

### ① 「普通科」

一般教科の学習を中心に、幅広い教養を身に付けることを主な目標とした学科です。大阪府下約 150 校の中からどこの学校にも自由に受験できます。

### ② 「専門学科」

文字通り、様々な専門性を追求した学科です。在学中に取得できる資格や卒業後の進路など、将来の専門性を見通して選びましょう。

例) 工業に関する学科・国際教養科・文理学科・体育に関する学科など

### ③ 「総合学科」

主に2・3年生になった際、普通科目と専門科目を合わせた非常に多くの科目の中から、適性や進路に応じた科目選択が可能な学科です。

### ④ 「普通科単位制」

必要単位があれば卒業できるシステムです。学年ごとの進級認定を行わず、3年間の間に決められた単位を修得すれば卒業を認められます。そのため、1年間に学習する科目の選択の幅が広がります。

### ⑤ 「△△コース」

私立高校では、主に「普通科」をさらに細分化し、「〇〇コース」と学校独自の名称があります。難しい名称も多数あり、それぞれ何を中心に学んでいくかが違います。必ず何が違うのかを調べましょう。



例) 興国(大阪) → 普通科スーパーアドバンスコース  
金光大阪(大阪) → 普通科特進Ⅰコース  
京都西山(京都) → 普通科こども夢コース など

【裏面へつづく】

## 【授業形態や時間帯の種類について】

### ①「全日制」

学ぶ時間帯は「朝～夕方」です。卒業まで「3年」が必要である。学年ごとに学ばなければならない授業の単位数が決まっています。

### ②「多部制単位制」

学ぶ時間帯は、「Ⅰ部(午前)」と「Ⅱ部(午後)」があります。卒業までⅠ部とⅡ部を併せて受けた場合は3年以上、別々に受けた場合は4年以上必要である。授業の形として、自分の生活スタイルやペースに合わせて、時間帯や科目が選べます。

### ③「夜間定時制」

学ぶ時間帯はおおよそ「午後6時～午後9時」です。卒業まで「4年」が必要である。通信制と併修した場合は「3年以上」となります。それぞれの「授業ごと」に単位をとります。働きながら学びたい人のための学校です。

### ④「通信制」

学ぶ時間帯は様々です。「週5や週2～3日の登校」や「月1回以上の登校」などがあります。卒業まで「3年以上」が必要です。登校しない日は、家などで学習し、レポート等を提出し添削指導などを受けます。

※注※ 【単位】とは、高校等にて使用する、「学習の量」のことです。決められた学習の成果をあげた時に、その科目の単位が認められます。(取得します。)それぞれの科目ごとに単位を取得し、必要な単位数をそろえることができれば、卒業可能となります。



前回に引き続き、進路選択についてのお話をしました。情報が本当に多いですね。これらを基に、「進路選択しましょう」と言われても、本当に困りますね…。では、そんな時はどうすればいいのか。

そんな時は、【原点】に立ちかえってみてください。「自分は何がしたいのか」「夢は何なのか」など自問自答してみましょう。そして、疑問・不安が湧き出した際には、担任や学年の先生・進路担当に気軽に相談してみましょう。話をしてみるだけでも、頭の中が整理され、自分の考えを知るキッカケになるかもしれませんよ。

### ～余談～

私個人のお話をしておきます。

受験する私立高校をどのように決定したかという、「友達が受けるから」でした。調べもせずに決めたため、あまり情報を持っていませんでした。よくよく調べると、山の上に学校があり、家から遠い。つまり通学時間が極めて長い。試しに自転車で行ってみると、現地に到着する前に、疲れてしまい、断念した記憶があります。本当に衝撃的でした。

もう一つ。受験する公立高校をどのように決定したかもお伝えしておきます。

①姉が通っていたため、体育祭などに行ったことがあり、学校の雰囲気や行き方などがわかっていた。（自転車で約15分という通学時間！）

②野球部があると知っていた。（当時は野球をしようと考えていたため）

この2点です。いや、厳密にいうと①が90%、②が10%ぐらいの割合です。今考えると、確実にこの決め方は【悪い見本】ですね。しかし、一つ良かったことは、【実際に行ったことがある】とい



う経験です。説明会などがどのように実施されるかは、現時点ではわかりませんが、できるならば、実際に足を運んで、自分の目で確認してみてください。肌で感じ取ってみてください。今の時代であれば、ホームページなども充実していますね。色々と活用してみましよう！

### 《今回のお話のまとめ》

「進学」と一言で言っても多くの選択肢がある。

①学校の種類

②学科やコースの種類

③授業形態や時間帯の種類

をしっかりと調べよう！



[追記・修正について] (R2.6.19)

(※1)(※2)におきまして、誤解を招くような表現だったため、追記・修正を行いました。